

2020年10月海洋観測結果について

9月29,30日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測地点

| | 調査点 | 海底水深 | 経度 | 緯度 |
|--------|-------|------|--------|---------|
| 赤碕ライン | ST-1 | 13m | 133.40 | 35.3100 |
| | ST-2 | 50m | 133.40 | 35.3430 |
| | ST-3 | 70m | 133.40 | 35.3736 |
| | ST-4 | 95m | 133.40 | 35.4340 |
| | ST-5 | 185m | 133.40 | 35.4805 |
| 長尾鼻ライン | ST-6 | 185m | 134.00 | 35.4300 |
| | ST-7 | 95m | 134.00 | 35.4000 |
| | ST-8 | 70m | 134.00 | 35.3700 |
| | ST-9 | 50m | 134.00 | 35.3400 |
| | ST-10 | 13m | 134.00 | 35.3200 |

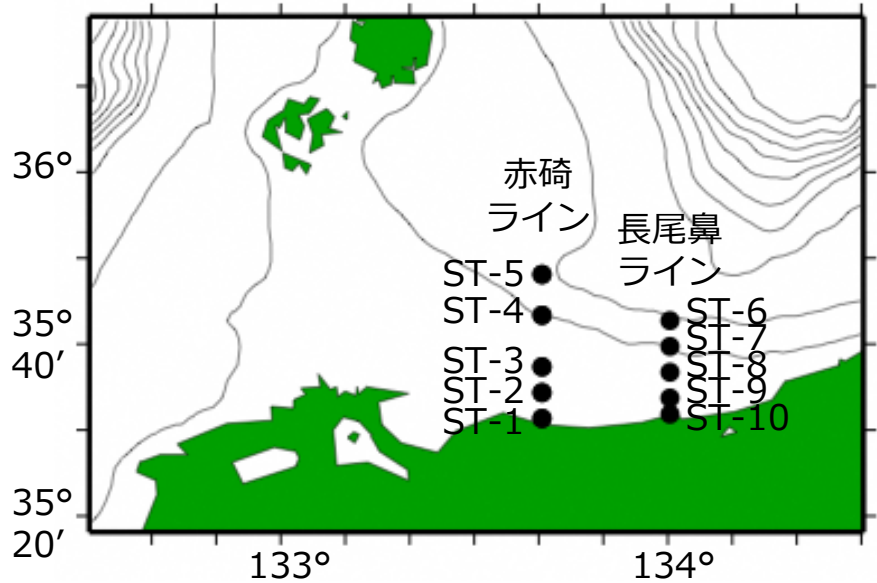
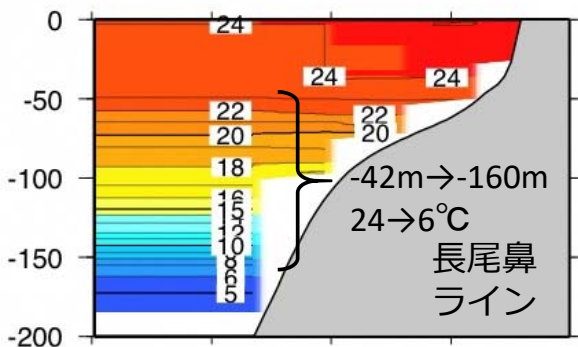
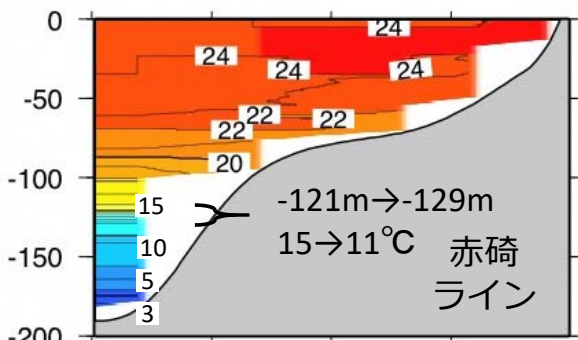


図1 観測地点

【鉛直分布図】

赤碕、長尾鼻ラインともに気温の低下に合わせ、表水温が低下し、24℃台になっています。

ソデイカ（あかいか）の操業で気になる100m深の水温は、赤碕、長尾鼻ラインそれぞれ18.1℃、17.2℃と高く、漁場水温としては適した状態にあります。



★ソデイカ（あかいか）情報★

ここまでの今漁期のソデイカの漁獲状況から、来遊は遅く、来遊量は少ないと考えられます。9月平均胴長41.7cm（前年9月平均56.2cm）

★大型クラゲ情報★

小型底びき網で入網が確認されています。東シナ海からの後続は小康状態で推移すると予想されおり、今後も漁網が揚がらないような大量入網は無いと思います。引き続き、御注意ください。

図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【10月観測の水深帯別の比較】

赤碕ラインでは水深0,30m帯では平年並みでしたが、50m帯では高く、90m帯ではかなり高い水温でした。長尾鼻ラインでは、30,50m帯で高い水温が観察されました（表2）。先月の高水温の影響が出ているものと考えられます。

表2 各調査ラインの水深帯毎の平均水温

| 調査定線 | 赤碕ライン (133° 40') | | | | 長尾鼻ライン (134° 00') | | | |
|------------|------------------|------|------|------|-------------------|------|------|------|
| | 水深帯 | 0m | 30m | 50m | 90m | 0m | 30m | 50m |
| 2020年 | 24.0 | 23.9 | 22.9 | 19.7 | 24.4 | 24.1 | 23.0 | 18.1 |
| 前年 | 23.7 | 22.6 | 20.7 | 17.3 | 23.7 | 21.4 | 19.4 | 18.6 |
| 2010-19年平均 | 24.0 | 23.6 | 21.3 | 17.6 | 23.9 | 23.0 | 21.1 | 17.9 |
| 平年差 | 0.0 | 0.3 | 1.6 | 2.1 | 0.6 | 1.1 | 1.9 | 0.2 |

【2020年7月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの7月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。総漁獲量は、前年、5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均を上回った魚種はスルメイカで、ぶり類、ケンサキイカ（白いか）、あじ類、サワラでした。キジハタは前年を下回ったものの、5年平均を上回りました。

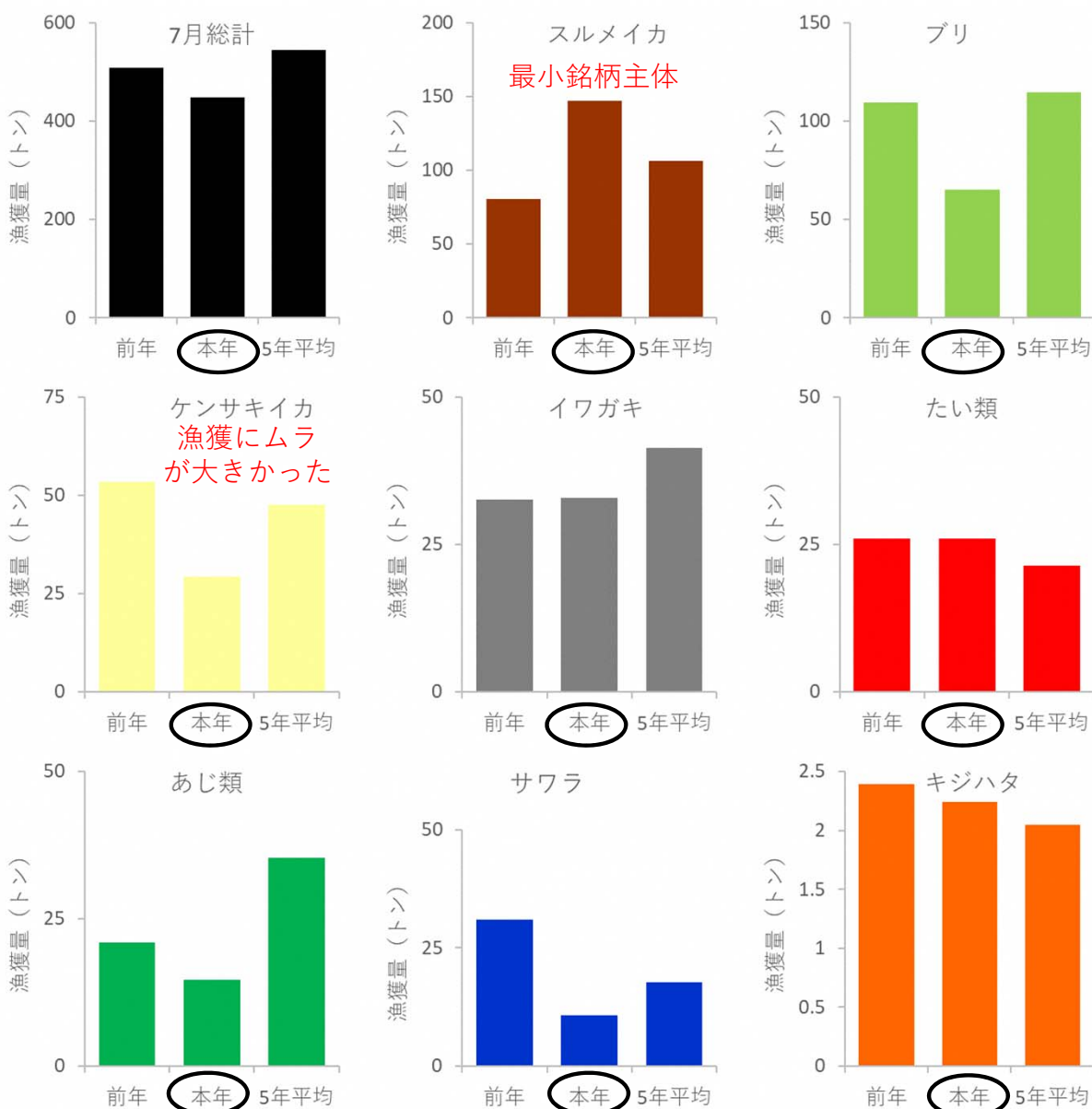


図3 7月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況